THE MUTSU SHIMPO
陸奥新報
10月16日
日曜日
©陸奥新報社2016

津軽ダムへ思い熱く

西目屋村長と足立参院議員対談

ダムへの思いなどを語り合う関和典西目屋村長（左）と足立敏之参院議員＝東京都内

16日に行われる津軽ダム（西目屋村）の竣工式を記念し、関和典同村長と、国土交通省で国内のダム建設に長く携わった足立敏之参院議員（自民党、比例）が東京都内で対談した。両氏は、防災や発電といったダム本来の役割、地域振興に向けたダムツーリズムなど幅広いテーマで意見交換し、ダムへの熱い思いを語り合った。

ダムの「再生」

関村長　津軽ダムは16日に竣工式を迎える。ダムの第一人者である足立議員には（国土交通省勤務時代に）津軽ダムの工事現場を視察してもらった。今回は対談していただき、ありがとうございます。

足立議員　ありがとうございます。竣工、誠におめでとうございます。津軽ダムは目屋ダムを再生して設けられた。日本のダムの将来を考えると、既存のダムを再生するプロジェクトは大事。（台風などによる）北海道や東北の豪雨災害を見ても、上流で水を少しでもためられたら被害を軽減できたのにと思う。ダムの再生手法は重要で、その全国トップを走る津軽ダムの取り組みを大いに評価したい。

ダム本来の役割

関村長　ダムは人の命を守るため、防災上必要だということをまず発信していきたい。岩木川の流域でも雨が降ると、リンゴ畑が冠水被害を受けてきた。津軽ダムができたことで、おそらくそれらを防げるのではないか。今後そういう恐れが生じた場合、津軽ダムが重要な役割を果たしてくれるだろう。岩木川下流域の市町村もそれを期待している。

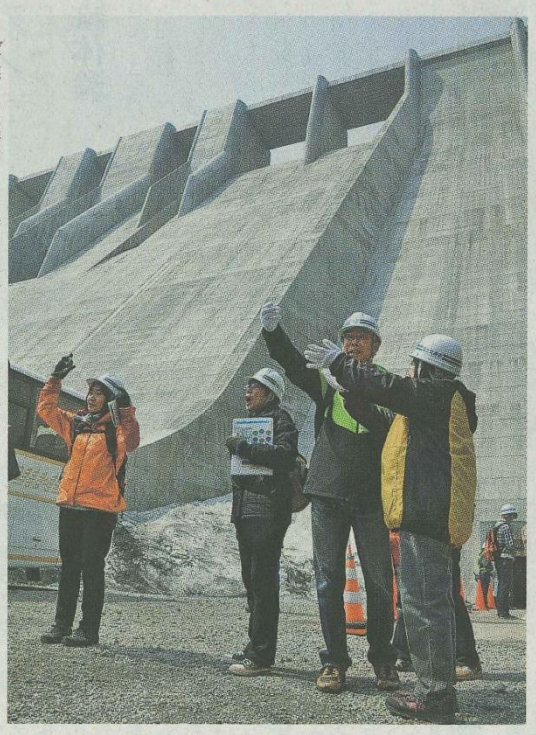
地域振興へ役割重要

さらに、ダムには水力発電などさまざまな効果もあり、それらもしっかり発信していきたい。国交省はインフラツーリズムを推奨しており、その中で当村はダムを観光資源と捉え、取り組みの一番の柱として水陸両用バスを導入する。できれば来年春、ダム湖「津軽白神湖」で運行して成功させたい。そこでアドバイスをいただきたい。

足立議員　私は秋田県の玉川ダム、神奈川県にあるクリートの4分の3の打設ダムを地域の活性化や観光に携わった。ダムは大変魅力のある構造物。宮ケ瀬ダムは、そのエリアに年間約120万人の観光客が訪れ

関　和典（せき　かずのり）氏
西目屋村出身。青山学院大学卒。衆院議員秘書、西目屋村社会福祉協議会事務局長、同村議2期などを経て、2006年に同村長に初当選。現在3期目。49歳。

足立　敏之（あだち　としゆき）氏
兵庫県出身。京都大学大学院修了。旧建設省（現国土交通省）に入省し、水管理・国土保全局長、技監などを歴任。2016年の参院選で初当選。62歳。



津軽ダム見学ツアーに参加し、ダム本体を間近に眺める参加者たち＝2016年4月

試験湛水中の津軽ダムで洪水時最高水位（216.3㍍）の景色を目玉に行われた見学ツアー。参加者は高さ97.2㍍の取水塔歩廊から広大な景色を眺めた＝2016年4月

高さ156㍍の宮ケ瀬ダムは、横浜市から近いという地の利もあるが、ダムそのものにそれだけ魅力がある。水陸両用バスの導入でに関わり、宮ケ瀬ではコンはコンクリートを打つ最中あるのではないか。そんな津軽ダムの魅力がさらに増

西目屋村の印象

関村長　「世界遺産と水源の里」を標榜する当村を訪れたときの印象、村への期待を聞かせてほしい。

足立議員　訪れたのは雪が降る直前だった。とても晴れて岩木山もきれいに見え、大変美しい村だと思った。世界遺産「白神山地」の入り口に当たり、たくさんの人が白神山地を見に行く際に通る大事な役割を果たしている。津軽ダムの竣工を契機に、さらに多くの人の目が村に向くよう、観光面でも発展するように心から願っている。その意味でもダムツーリズムがうまく根付いてほしい。

経済効果

関村長　津軽ダム建設の過程で、村長として非常にありがたいと思ったのは経済効果。津軽ダム工事事務所にはそれらを細かく集計してもらい公表してもらった。数字で出てくると、効果をはっきり感じることができた。村に隣接する弘前市を中心とした地域への経済効果は素晴らしいものだった。これらを今後もアピールしていきたい。

足立議員　地域創生が全国的に叫ばれている中、ダムがあることによって観光面や経済面でどういった効果があるかを広く知ってもらうことは大事。なかなか実感として分からないところがあるかもしれないが、それをデータで示したりすれば、津軽ダムがどのような効果を発揮したのかをリアルに分かってもらえる。ぜひそういうことをやってほしい。ダムツーリズムを全国的なものにするためにも、経済効果をデータできちんと示すことが重要だ。

新たなモデル

足立議員　津軽ダムは左右対称に造ってある。構造物をできるだけ左右対称に造るということは重要で、宮ケ瀬ダムも左右対称。ダムを造る人たちも美しいものを造ろうと思って携わっている。

関村長　津軽ダムは「姿が美しい」と言われており、当村にとって自慢だ。本当にきれいなダムを造ってもらったなと感じており、夜間照明などを行っている。ダムツーリズムを展開しながら、国交省など諸機関と連携し、美しい津軽ダムをモデルに新しいダムの在り方をつくって発信していきたい。

足立議員　私は国会議員唯一の「ダム屋（ダムの施工現場を担当した人）」。その経験を国会活動で生かしながら、ダムの魅力と役割を知ってもらうよう努力する。「日本ダムアワード」というものもあり、その年一番頑張ったダムが毎年表彰されている。津軽ダムにはナンバーワンになってほしい。

関村長　私は「ここから始まるのだ」と思っている。津軽ダムをはじめ、今頑張っているダム、これから造られるダムを応援していただきたい。ありがとうございました。

足立議員　ありがとうございました。

（聞き手・長内忠光）